

ヘテロカプサ サーキュラリスカーマ(渦鞭毛藻)

(*Heterocapsa circularisquama*)

動画



時々、つつくような動きをして方向転換する

50.0 μm



英虞湾で発生した赤潮
(海水が鉄さび色に変色)



ヘテロカプサ赤潮によってへい死したアコヤガイ



前端は尖る

葉緑体

横溝

遊泳方向

ピレノイド

後端は丸い

葉緑体がつまった細胞

速い

類似種
ヘテロカプサ属 未同定種

- ◆ やや小型
- ◆ 形での区別は難しい
- ◆ 動きが速い

小さい

動画

大きさ 長さ20~29μm、幅15~20μm

形態 色は薄い黄褐色。細胞の先端は尖り、後端は丸い。横溝は太く、細胞の中央を一周している。ピレノイドという丸い構造物が見られることがある。

動き ゆっくり回転しながら泳ぐ。比較的まっすぐに泳ぎ、時々、前後につつくような動きをして方向転換をするのが特徴である。他種との区別には、この泳ぎ方が重要なポイントとなる。

漁業への影響：貝類のへい死を引き起こす。二枚貝の他、巻貝(アワビなど)もへい死させる。低密度(50細胞/ml)でも二枚貝類を弱らせることがあり、数千細胞/mlを超えるとへい死の危険性がある。魚類や甲殻類(エビ、カニなど)に対しては無害とされている。

漁業被害：平成4年に英虞湾で大規模な赤潮を形成し(本県初の発生)、アコヤガイの大量へい死を引き起こして真珠養殖業に大打撃を与えた。平成6年には英虞湾、五ヶ所湾で、平成8年には英虞湾で、平成23年には英虞湾、阿曾浦で、アコヤガイやヒオウギなどがへい死する被害が発生している。

発生海域：熊野灘沿岸

発生時期：7~12月(夏季中心)